

冬の星空

【児童センター冬の星空2月号】

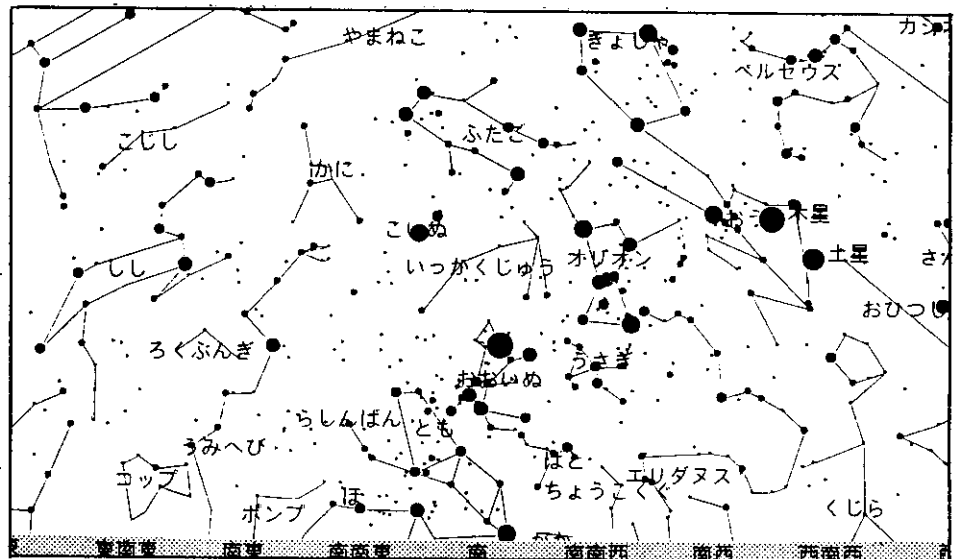
真冬の2月、関東地方での空気はとてもきれいです。いわゆる“大気透明度”がいい状態になります。また、冬型の気圧配置になると関東地方の平野は晴れる日が多くなるので月の出てない夜は星々の輝きがとても美しくなります。

特に今年の冬は、宵の頭上に木星（ひときわ明るい星）と土星がオリオン座の近く（右上）に輝きをそえます。1等星の多い冬の夜空にプレアデス星団（すばる）やヒアデス星団も木星や土星のすぐ近くにありますので、星団が解らない人は木星を目印に見つけるといいでしょう。

<2月の星空カレンダー>

- 1日（木）●上弦
- 8日（木）○満月
- 15日（木）●下弦
- 23日（金）●新月

右の星図は、2月中旬夜9時ごろ、南の方向を中心に見た星空です。



☆☆☆☆☆☆

《天文現象》

☆夕方西空に2月下旬最大光度になる**金星**そして1月下旬から2月上旬に**水星**が楽しめます。金星は特に明るくなるので、午後まだ太陽の沈まない明るい空の状態から見えます。児童センター天体観望会で早く来館されたお客さまに天文台の望遠鏡で水星を観望して頂く予定です。（天体観望会は第1・3土曜日午後7時より）

☆2月3日、おうし座のヒアデス星団を月が横切ります。ヒアデス星団とはやや明るい星々がかたまっている、おうし座の頭の部分です。月の動きは大変ゆっくりですが、双眼鏡を使うと月の動きによって背景の星々が月にかくれたり、出てくる様子がわかります。約30分ごとに月の周辺の星を観察してみましょう。

☆プラネタリウム番組『人間の星をさがしにいこう！』は2月で投影終了になります。3月からは、「しまじろうの星空大冒険」を投影します。お楽しみに…。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆